

平成26年度第7回定例理事会議事録

日時：平成26年12月6日（土） 13：05 ～ 17：00

場所：奈良県理学療法士協会 事務所

出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、松村、廣池、西田、田平、中村

監事：門脇、北村、中俣

議事録署名人：尾崎、門脇、北村、中俣

書記：廣池、中野

- 議事：1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. 協会長賞推薦について
4. 各局・部・委員会報告
5. その他

1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 11／9 衆議院議員田野瀬太道君と明日の日本を語る会
／14 理学療法啓発部 会議
／16 介護予防推進リーダー導入研修会
／25 調整会議 ／27 県医師会創立記念式典
／27 高市早苗応援団 緊急会議
／29 財務部会議（代：増田）
なら新人研修システム『訪問リハビリテーションコース』懇親会
12／3 なら新人研修システム『訪問リハビリテーションコース』修了証授与式
12／6 定例理事会第7回

2. 会員異動承認

平成26年11月9日から12月6日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 協会長賞推薦について

- ・ 表彰規程の変更により、協会長賞 5 種類になった。その中の「功労分野」に門脇監事が該当するため、理事会で推薦したい。
⇒ 理事全員に承認された。
- ・ 今のところ、その他該当者は見当たらない。

4. 各局・部・委員会報告

- 1) 3団体合同訪問リハビリテーション実務者研修会 運営委員会（佐藤理事）
・ 場所を青丹学園で、2月7日、8日開催予定。そろそろ申し込みを開始する

- ・講義としては「低 ADL・寝たきりの人のリハビリテーションの基本戦略とゴール設定」「認知症の在宅支援」等の内容が決まりつつある。
- ・参加費 1 日 1500 円で締め切りは 1 月 15 日。懇親会を行う予定にしている。
- ・今回は奈良県会員に限定しているが、振興会としては全国から参加できるような体制にしていく方向なので、来年以降、開催方法や申し込み方法を検討する必要がある。
- ・修了書は前回同様 3 団体の会長名で発行する。
- ・近畿ブロックの代表は滋賀県のイシグロ先生（OT）で、奈良県 3 団体の窓口は西大和の安井先生（OT）となっている。

2) 奈良整形リハビリテーション勉強会 専門領域委員会（田平理事）

- ・11 月 8 日、9 日に開催された勉強会が無事終了。参加者 38 名であった。収支は協会からの補助があって、ギリギリで収まった。

3) 奈良呼吸勉強会（田平理事）

- ・吸引講習会を 2 月 21 日に畿央大学にて開催予定。定員は 40 名で設定。
- ・今回より日本理学療法士協会のホームページに載せる予定だが、県内の案内を先に行ってから公開する予定。

4) スポーツ理学療法勉強会 専門領域委員会（石橋理事）

- ・福本委員長より以下検討依頼あり。
 - *奈良マラソンメディカルサポートのスタッフを確保する目的もあり、勉強会を毎月開催したい。内容はメディカルサポートに即したものにす。
 - *この勉強会を専門領域で開催した方が良いか、それとも協会の事業として開催した方が良いか。専門領域で開催すれば収支は専門領域内で終わってしまうが、協会としての実績が必要であれば、協会事業とした方がよいのではないか。
- ・検討の結果、「奈良マラソンメディカルサポート委員会」の名称を、「スポーツメディカルサポート委員会」等の名称に変更し、スポーツ全般に対応できるようにする。事業計画、予算案を出し、専門領域ではなく協会の公共事業として行ってもら。また、スタッフの募集に関しては、何か工夫してもら。
- ・上記結果を福本委員長へ報告し、来年度の予算計画が迫っているので、至急、事業計画、予算案を提出してもら。

5) 事務局（増田局長）

- ・2015 年 11 月 29 日（日）に奈良県で開催される、「日本プライマリ・ケア連合学会 第 29 回近畿地方会」への後援依頼あり、承認される。また実行委員として石橋副会長を推薦し、承認される。
- ・「奈良障害フォーラム（NDF）」から入会依頼あり。年会費 2000 円。代表は玉村公二彦氏（日本障害者協議会・奈良教育大）で、日本障害フォーラムとも連携しており（他県のフォーラムとも）、しっかりとした団体であると思われるが、会員と賛助会員との区別や、当協会の関わり方等、規約がやや曖昧。

- ・ 1月31日（土）にNDF結成総会・記念シンポジウムが奈良教育大学附属小学校で開催されるので、尾崎会長がそれに出席し、様子を見てから、2月の理事会で再度検討する。問い合わせあれば役員にて検討中と返答。

5. その他

1) 野球肘検診について（石橋理事）

- ・ 11/4に奈良県の野球少年を対象とした野球肘検診が実施され、本会より石橋理事が参加。研修医を含め医師は約20名、理学療法士も約20名、ボランティア等を含め総勢400名の参加があった。検診には軟式野球が約25チーム、硬式野球が約2チーム来られ、肘のエコー、関節の動きの確認、柔軟性の評価、ストレッチの指導等を行った。
- ・ 今後もNPO法人奈良野球少年を守る会から協賛の依頼があれば、協力していく。本会の活動としてニュースにも掲載していく。

2) 中間監査報告（中俣監事）

- ・ 監査結果としては、上半期の事業は概ね順調に執行されている。証拠書類等について監査の結果、予算の執行は順調に推移し、財産は適正に管理運営されている。
- ・ 意見および指導としては、議事録が適正に作成、管理されている。資料の保管に関しては、容易に閲覧できるように工夫する。IT化推進については、今後の協会運営に多大な影響が考えられるので、迅速かつ慎重また、透明性を重視して取り組む。予算の執行は財務部と各部が連携をとり、迅速に行われていた。

以上